

V I E W

No. 94

発行責任者 湊 伸一

発行編集者 教 宣 部

喉元過ぎれば熱さを忘れる？！ またしても「日曜出勤」が！！

10月5日、職場に11月分の「稼働日予定表」が貼り出されました。それによると11月19日の日曜日と11月25日の土曜日が「出勤」になっています。昨年3月の「ダイヤ改正時」に「交番検査の回帰キロを3万キロから倍の6万キロにする検査周期延伸」を行い、昨年度も今年度も「白日（非稼働調整日）」が年間17日も発生するのです。しかも「予定表」によると来月も「白日」が3日間も入っています。その中でなぜ「日曜出勤」なのでしょう。

昨年も4月から11月までは大きな「変化」はなかったものの、昨年末の12月に入って「日曜出勤」が2日、「土曜出勤」が1日、そして年末の28・29・30日（水・木・金）を休ませて大晦日の12月31日を出勤日にしていました。日頃から「新交検（140分）」作業を現場作業者の「頑張り」と工夫で廻している社員の努力に応えようという気持ちは会社にはないのでしょうか？！

会社こそが「時間を優先した作業」をやっているのではないですか！！

また最近会社は、社員が「時間を優先した意識」で「喚呼」や「作業手順」を省略する傾向にあるとして、「所内誌」に文章を載せたり、点呼で言ったりして社員に対して「作業点検」も行っています。しかし、昨年3月ダイヤ改の「検査周期延伸・新交検」で「時間を優先した作業」を始めたのは会社ではないですか。以前のように「作業ダイヤの細かいタクト時分」などは設定せずにトータルを140分でこなすという内容で、「予備検査」を「加圧機器検査」に言い換えて「予備検査もないから短い時間で施工できます」とか導入時関西支社も腐心していました。1日3本の検査をこなすために昼休憩も11時25分からに早められました。

最近でも10月2日の総点呼で、いつもより10分程度作業開始が遅れて協力会社のSEK作業が11時05分から昼休憩にくだり込むということもありました。これは十分な「準備時間」が設定されていないからです。「130分交検」ではないですか！会社こそが「時間優先」どころか「時間短縮作業」をやっているのではないですか！会社の「手抜き」は誰がチェックするのですか。社員と、社員の負託を受けて活動する労働組合ではないですか？！

会社発足30年を迎えた今年4月から新しい「経営理念・行動指針」が策定されましたが、これが『安全最優先の行動』でしょうか？！社員の皆さん「振り返り面談」で管理者に尋ねてみてはどうですか？！